

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2003-511505(P2003-511505A)

【公表日】平成15年3月25日(2003.3.25)

【出願番号】特願2001-528488(P2001-528488)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/16 (2006.01)

C 0 9 K 3/16 (2006.01)

D 0 6 M 13/256 (2006.01)

D 0 6 M 13/477 (2006.01)

D 0 6 M 15/248 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 J 5/00 C E R

C 0 8 J 5/00 C E Z

C 0 8 K 5/16

C 0 9 K 3/16 1 0 4 G

C 0 9 K 3/16 1 0 4 Z

C 0 9 K 3/16 1 0 8 Z

D 0 6 M 13/256

D 0 6 M 13/477

D 0 6 M 15/248

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月14日(2007.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

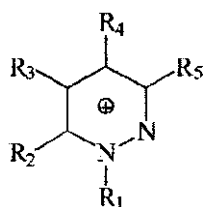
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

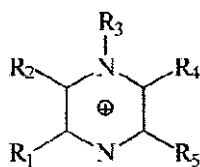
【請求項1】 非ポリマーの窒素オニウムカチオンと、弱配位性含フッ素有機アニオンとからなる少なくとも1種類のイオン塩であって、前記アニオンの共役酸が過酸であるイオン塩（a）と、少なくとも1種類の熱可塑性ポリマー（b）との溶融ブレンドを含む帯電防止組成物。

【請求項2】 非ポリマーの非環式、飽和環状または芳香族窒素オニウムカチオン（i）と、弱配位性含フッ素有機アニオン（i i）とからなる少なくとも1種類のイオン塩であって、前記アニオンの共役酸が過酸である少なくとも1種類のイオン塩（a）と、少なくとも1種類の熱可塑性ポリマー（b）との溶融ブレンドを含み、前記芳香族窒素オニウムカチオンが、

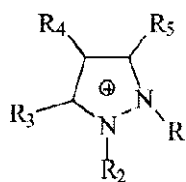
【化1】



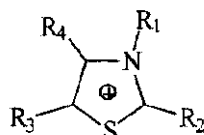
ピリダジニウム



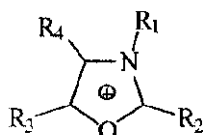
ピラジニウム



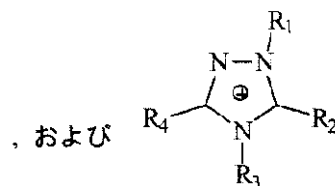
ピラゾリウム



チアゾリウム



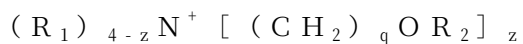
オキサゾリウム



トリアゾリウム

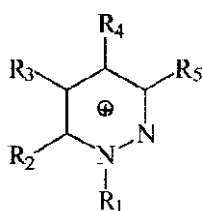
(式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 および R_5 は、H、F、1～約4個の炭素原子のアルキル基、ここで、2個の前記アルキル基と一緒に結合して2～4個の炭素原子の単体アルキレンラジカルを形成し、N上でまとまって環構造を形成する、及びフェニル基からなる群より独立に選択され、前記アルキル基、前記アルキレンラジカルおよび前記フェニル基は1個以上の電子吸引基で置換することができる)からなる群より選択される帯電防止組成物。

【請求項3】 (1) 下式

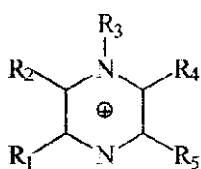


(式中、各 R_1 は、1個以上のヘテロ原子を含むことのできるアルキル、脂環式、アリール、アルカリ環状、アルカリール、脂環式アルキル、アラルキル、アル脂環式および脂環式アリール部分からなる群より独立に選択され、各 R_2 は水素と R_1 について上述した部分とからなる群より独立に選択され、 z は1～4の整数、 q は1～4の整数である)により表されるものより選択されるか、もしくは(2)

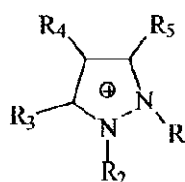
【化2】



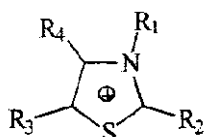
ピリダジニウム



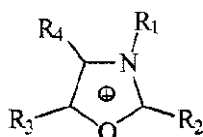
ピラジニウム



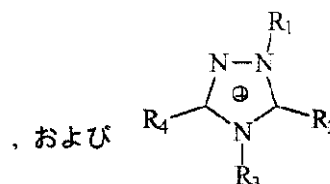
ピラゾリウム



チアゾリウム



オキサゾリウム



トリアゾリウム

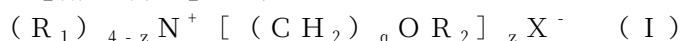
(式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、 R_5 および R_6 は、H、F、1～約4個の炭素原子のアルキル基、ここで、2個の前記アルキル基が一緒に結合して2～4個の炭素原子の単体アルキレンラジカルを形成し、N上でまとまって環構造を形成する、及びフェニル基からなる群より独立に選択され、前記アルキル基、前記アルキレンラジカルおよび前記フェニル基は1個以上の電子吸引基で置換することができる)からなる群より選択される、非ポリマーの窒素オニウムカチオン(i)と、ビス(パーフルオロアルカンスルホニル)イミドとトリス(パーフルオロアルカンスルホニル)メチドからなる群より選択され、共役酸が過酸である弱配位性含フッ素有機アニオン(ii)とからなる少なくとも1種類のイオン塩(a)と、少なくとも1種類の熱可塑性ポリマー(b)との溶融ブレンドを含む帯電防止組成物。

【請求項4】 請求項1記載の組成物を含む繊維。

【請求項5】 請求項1記載の組成物を含むフィルム。

【請求項6】 請求項1記載の組成物を含む成形またはブロー成形物品。

【請求項7】 下式



(式中、各 R_1 は、1個以上のヘテロ原子を含むことのできるアルキル、脂環式、アリール、アルカリ環状、アルカリール、脂環式アルキル、アラルキル、アル脂環式および脂環式アリール部分からなる群より独立に選択され、各 R_2 は水素と R_1 について上述した部分とからなる群より独立に選択され、 z は1～4の整数、 q は1～4の整数、および X^- は弱配位性含フッ素有機アニオンであり、前記アニオンの共役酸は過酸である)により表される化合物の群より選択される化合物。

【請求項8】 トリメチル-3-パーフルオロオクチルスルホンアミドプロピルアンモニウムビス(トリフルオロメタンスルホニル)イミド。

【請求項9】 非ポリマーの窒素オニウムカチオンと弱配位性含フッ素有機アニオンとからなる少なくとも1種類のイオン塩であって、前記アニオンの共役酸が過酸である少なくとも1種類のイオン塩(i)と、少なくとも1種類の熱可塑性ポリマー(ii)とを混合する工程(a)と、得られた混合物を溶融処理する工程(b)とを含む請求項1記載の帯電防止組成物を製造する方法。

【請求項10】 局所処理組成物を、少なくとも1種類の絶縁材料の少なくとも一表面の少なくとも一部に適用する工程を含み、前記局所処理組成物が、非ポリマーの窒素オ

ニウムカチオンと弱配位性含フッ素有機アニオンとからなる少なくとも1種類のイオン塩から実質的になり、前記アニオンの共役酸が過酸であり、前記イオン塩が適用温度で液体である局所処理方法。